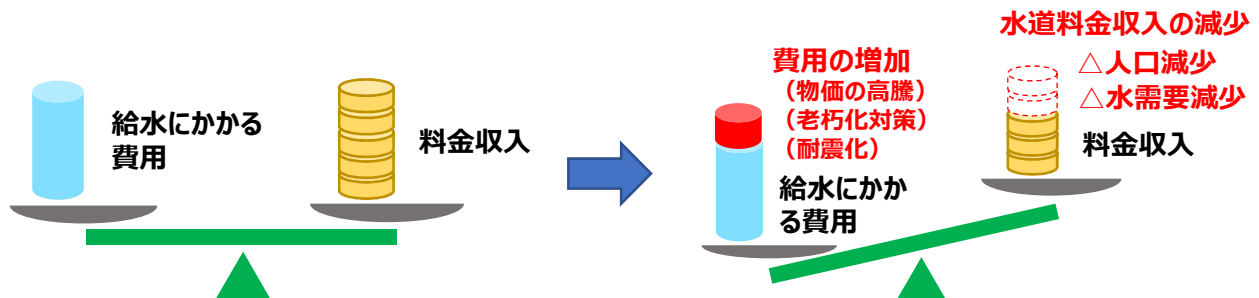


2022年度に改定した一宮市上下水道事業経営戦略における財源目標として、中長期的な財政運営に必要な資金の確保及び持続可能な水道事業・下水道事業の運営のため、2024年10月1日から料金等を改定しました。

1. 水道料金の改定理由

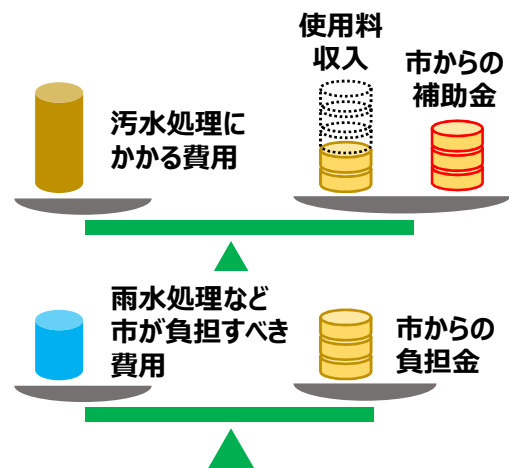
物価の高騰や、地震への備えとして施設の耐震化工事が必要になっていること、施設の老朽化が進んでおり更新工事が必要になっていることなどから、水道料金で賄うべき費用は年々増加傾向にあります。

その一方で、人口の減少や、節水型機器の普及から、水の需要及び水道料金収入が減少している傾向にあります。この傾向が続くことで水道料金で必要な費用を賄うことができなくなっていくます。



2. 下水道使用料の改定理由

下水道事業においては、これまで生活環境の向上、公共用水域の水質保全、浸水被害の軽減を目的として下水道管の布設などを進めつつ、老朽化した施設の更新に取り組んでまいりました。今後も未普及、老朽化、地震対策、広域化事業に多額の事業費が必要になります。これまで財源として借入れしました企業債の償還により資金が減少傾向にあり、事業継続が不可能となる見込みとなっております。



3. 水道料金の改定内容について（2024年10月より）

- ・基本料金（水道水の使用にかかわらず発生する定額の料金）を一律7%増額
- ・従量料金（水道水の使用に応じて発生する料金）は臨時用を除き15円の増額
臨時用従量料金を102円の増額
- ・基本水量の廃止

この改定の実施により、1年間の収入が約15%、約7.2億円増加する見込みとなっています。その増加分を活用し、水道施設の耐震化をより強く進めていきます。

4. 下水道使用料の改定内容について（2024年10月より）

- ・一般用・家事用：基本使用料は25%、従量使用料は一律18円の増額
- ・公衆浴場用：基本使用料は10%、従量使用料は一律7円の増額
- ・臨時用：従量使用料を19%増額
- ・工場廃液用：従量使用料を15%増額
- ・特定事業用：従量使用料を25%増額

この改定の実施により、1年間の収入が約25%、約6.8億円増加する見込みとなっています。その増加分を活用し、引き続き下水道施設の耐震化を進めていきます。